

各 位

会 社 名 株式会社 **ラピス**
 代表者名 代表取締役社長 佐々木ベジ
 [コード番号 8143 東証 スタンダード市場]
 問合せ先 代表取締役社長 佐々木ベジ
 (TEL 03-6635-1847)

2027年2月期中間期連結累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2026年4月20日に公表いたしました2027年2月期第2四半期（中間期）連結業績予想につきまして業績予想と実績の差異を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）連結業績予想の修正（2026年3月1日～2026年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	955	△ 113	△ 100	△ 104	△ 43.99
今回修正予想 (B)	851	△ 176	△ 157	△ 80	△ 33.86
増減額 (B－A)	△ 104	△ 63	△ 57	24	
増減率 (%)	△ 10.9	－	－	－	
(ご参考) 前期中間期実績 (2026年2月期中間期)	918	△ 172	△ 161	△ 165	△ 70.21

(注) 1株当たり中間純利益の端数処理方法は、有価証券報告書、半期報告書に合わせて切捨てとしております。

2. 修正の理由

当中間連結会計期間の業績は、中東地域を巡る情勢を起因とした原油価格や資源価格の高騰の影響で長期化する物価高騰から、消費者の節約志向が根強く、ミセス層を中心とした消費者の慎重な消費マインドによって、売上高は、前回の予想数値を下回りました。

損益面に関しましては、採算を重視した営業活動に注力し、販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、製造原価が上がり、営業利益、経常利益は予想数値より下回りました。一方で、親会社株主に帰属する中間純利益は投資有価証券売却益があり、予想数値を上回りました。

通期の業績予想につきましては、秋冬物商品での売上高の確保を行い、販管費削減策を更に実行して、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに、2026年4月20日に公表いたしました業績予想数値を据え置くことといたします。また、配当予想につきましても修正はありません。

今後の業績動向などを見極め、修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上